

看護学科の方向性について

■ 看護学科設置の背景

- 全国的に就業者数が減少する中、医療・福祉職の需要は増加していく。
- 神奈川県の見込みでは、今後も看護師の不足が見込まれる。
- 看護師確保の観点から、これまでと同様に地域医療に根差した看護師の輩出が求められる。
- 4年制大学の受験志向の高まりから、今後も一定の志願者が見込まれる。
- 医療の高度化やニーズの多様化へ対応し、さまざまな現場で活躍できる看護師の育成が必要。



**地域医療を支える質の高い看護師を
養成・輩出するための看護学科を設置する**

看護学科の方向性について

■ 想定する定員について

1 学年80人・4 学年計320人

1 学年あたり80人を基本として施設規模を含めた検討を行う

【1 学年あたりの定員イメージ】

- ・ 市立看護専門学校での既存養成者数 . . . 40名
- ・ 大学化による増加数 40名

看護学科の方向性について

■ 近隣大学の状況

- ・ 横須賀市内医療機関への就職が少ない（延べ88施設中7施設のみ）
- ・ 各大学の平均受験倍率は約2.9倍
- ・ 公立大学の場合、合格者に対して入学率が高い（約9割）
- ・ いずれの大学も定員割れは生じていない。

各大学における受験動向（2024年度）

出所：各学校HP及び旺文社パスナビから作成

名称	定員	受験者	合格者	入学者	受験倍率	入学率 (入学者/合格者)	地区	市内病院への 就職施設数
(公) 神奈川県立 保健福祉大学	90	231	103	90	2.6	87%	横須賀市	3件/26施設
(公) 横浜市立大学	100	227	115	109	2.3	94%	横浜市	0件/6施設
(公) 川崎市立 看護大学	100	259	113	102	2.6	90%	川崎市	2022年開学の ためなし
(私) 関東学院大学	80	411	212	90	5.1	42%	横浜市	1件/18施設
(私) 湘南鎌倉 医療大学	100	236	123	104	2.4	84%	横浜市	0件/21施設
(私) 湘南医療大学	140	302	269	147	2.2	54%	横浜市	3件/17施設

看護学科の方向性について

■ 看護職員の需給動向

神奈川県の看護師需給推計（2025年時点）では、最大で約4万人の看護師不足が見込まれる。

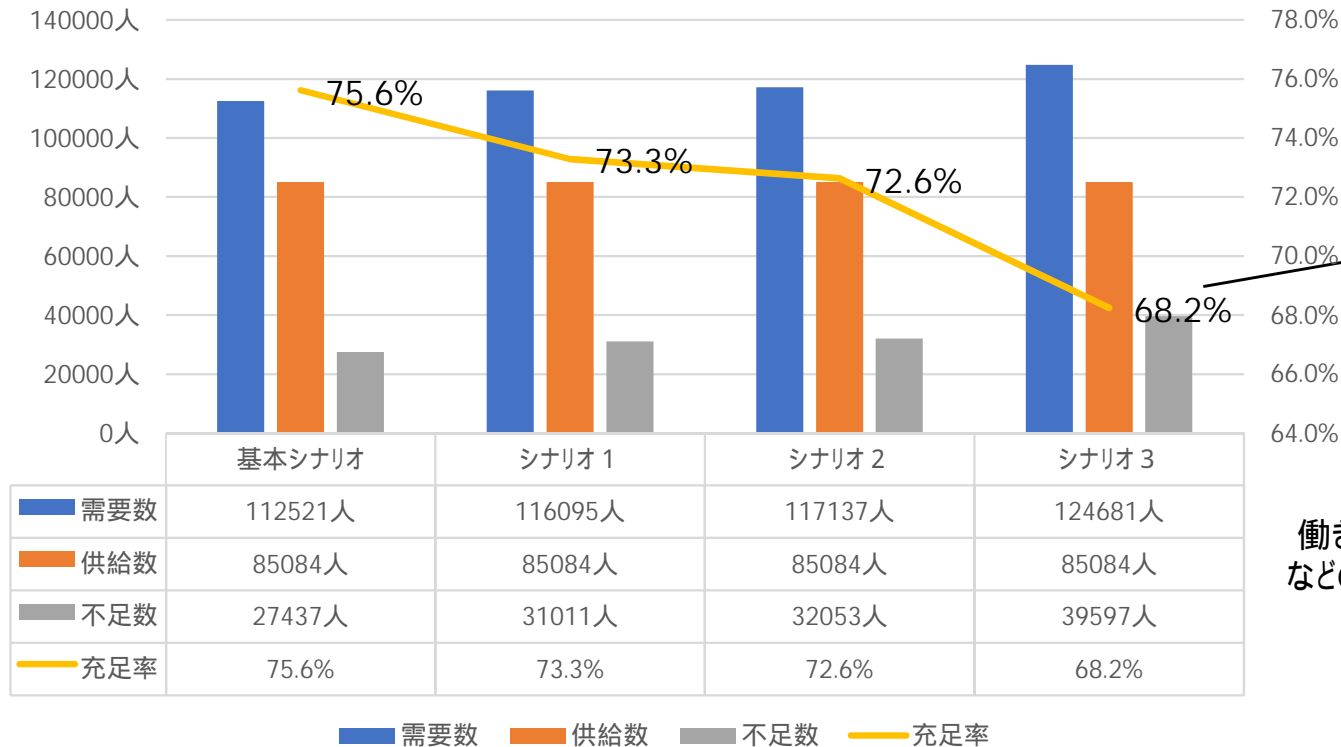
基本シナリオ：県報告値を基に短時間勤務者の増加を考慮したもの

シナリオ 1：就業中の全ての看護職員の超過勤務月10時間以内、有給休暇年5日以上

シナリオ 2：就業中の全ての看護職員の超過勤務月10時間以内、有給休暇年10日以上

シナリオ 3：就業中の全ての看護職員の超過勤務月0時間、有給休暇年20日以上

神奈川県の看護職員の需給推計（2025年時点）



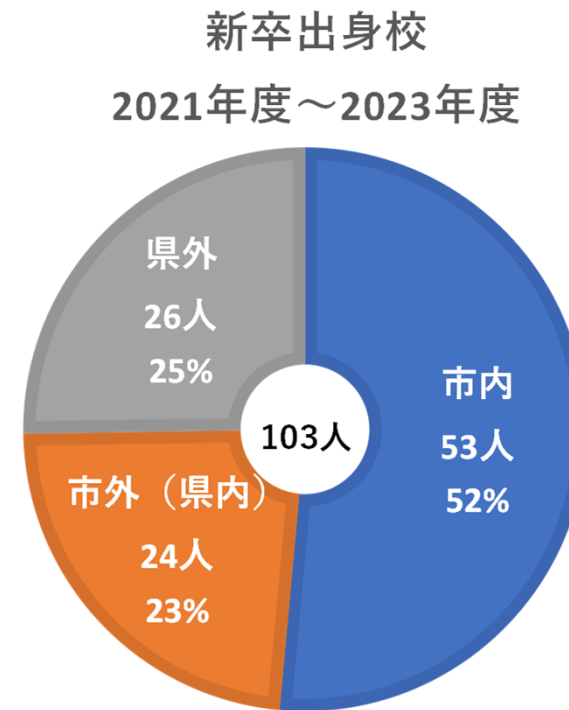
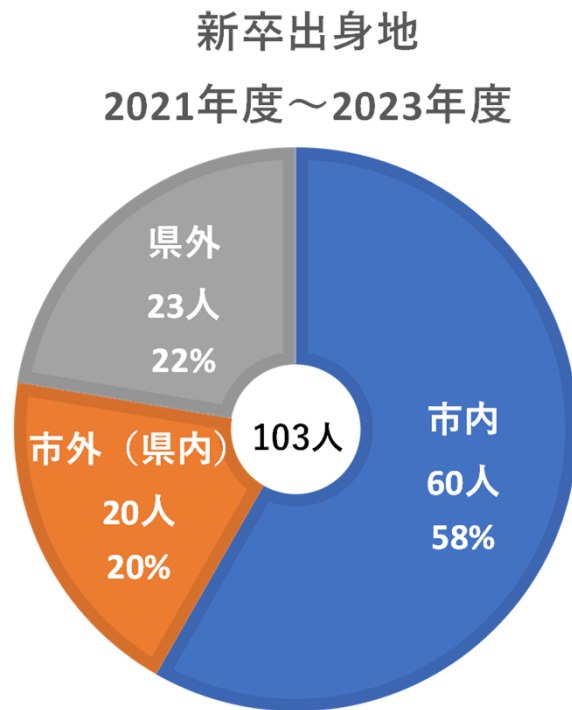
**最大想定で約4万人の看護師不足
（7割弱の充足率）**

働き方改革の進展（時短勤務者の増加、超過勤務の減少等）などの影響を加えた4つのシナリオを設定したものにより推計

看護学科の方向性について

■ 市立病院の新卒看護師就職状況

市内出身の学生が約 6 割、市内の看護系学校の卒業者が約 5 割
地元出身者は地元就職する傾向



看護学科の方向性について

■ 安定的な大学運営が望める学生数

ケース が最も収支が高く、ケース では赤字収支の試算結果となった。

【運営収支比較表】

	ケース	ケース	ケース
想定人数	看護80人/学年 (4年計 320人)	看護60人/学年 (4年計 240人)	看護40人/学年 (4年計 160人)
収入合計	676,665千円	507,500千円	338,332千円
(入学検定料)	3,241千円	2,431千円	1,620千円
(入学料)	13,968千円	10,476千円	6,984千円
(授業料)	171,456千円	128,592千円	85,728千円
(運営費交付金)	488,000千円	366,000千円	244,000千円
支出合計	589,204千円	489,990千円	414,911千円
(人件費)	463,753千円	394,855千円	322,844千円
(その他経費)	125,451千円	107,405千円	92,067千円
収支計	87,461千円	5,240千円	-76,579千円

学生数に比例して収入が増加

教員数等の人件費は学生数に対して
緩やかに増加

算定基準	ケース	ケース	ケース
最低必要面積	4,561㎡	4,164㎡	3,966㎡
想定教員数	29人	24人	19人
常勤職員数	12人	10人	8人
非常勤職員数	21人	18人	14人
(参考：大学設置基準) 必要基幹教員数 (最低基準)	19人	19人	19人

大学設置基準および類似大学事例より試算
(備品等の設備費等イニシャルコスト・減価償却費含めず)

看護学科の方向性について

■（参考）公立大学法人の基幹教員の必要見込み数

学生定員数	80人/1学年	60人/1学年	40人/1学年
理事長（学長）	1人	1人	1人
教授	9人	9人	9人
准教授	7人	6人	4人
講師	5人	3人	2人
助教（助手）	7人	5人	3人
計	29人	24人	19人

必要基幹教員数（最低基準）はいずれも19人（大学設置基準より）

理事長=学長=教授

教員数は、一般社団法人日本看護系大学協議会等が看護系大学（国公私立）教員数に関する調査結果（2021年）を参考に算出

准教授～助教(助手)は、近隣類似大学を参考に算出